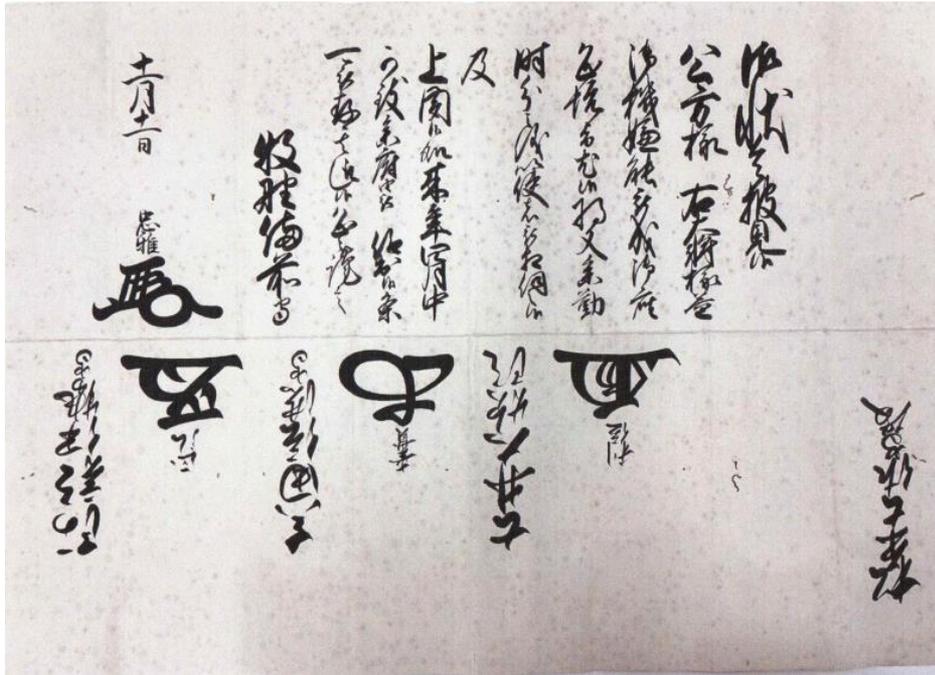


参勤交代がつくった 2種類の奉書紙



山内家老中奉書
(高知県立高知城
歴史博物館所蔵)

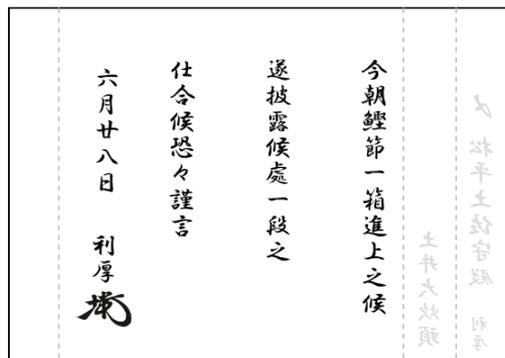
石川良枝 (Ishikawa Yoshie)

広島県立文書館

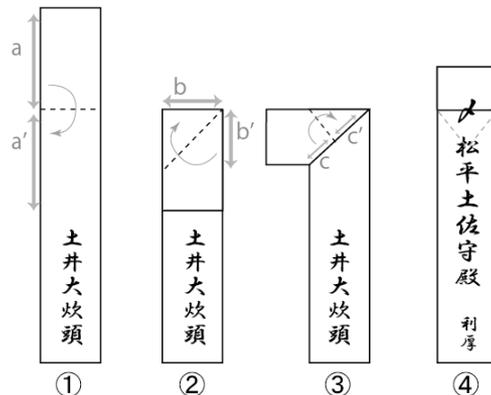
／広島大学人間社会科学研究科

老中奉書の2種類の紙が示す重要な点とは？

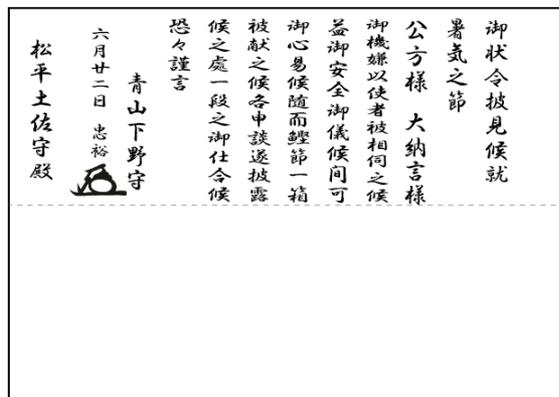
奉書紙A(豎紙)



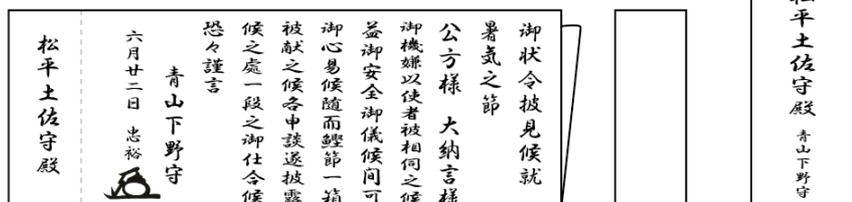
(捻り封)



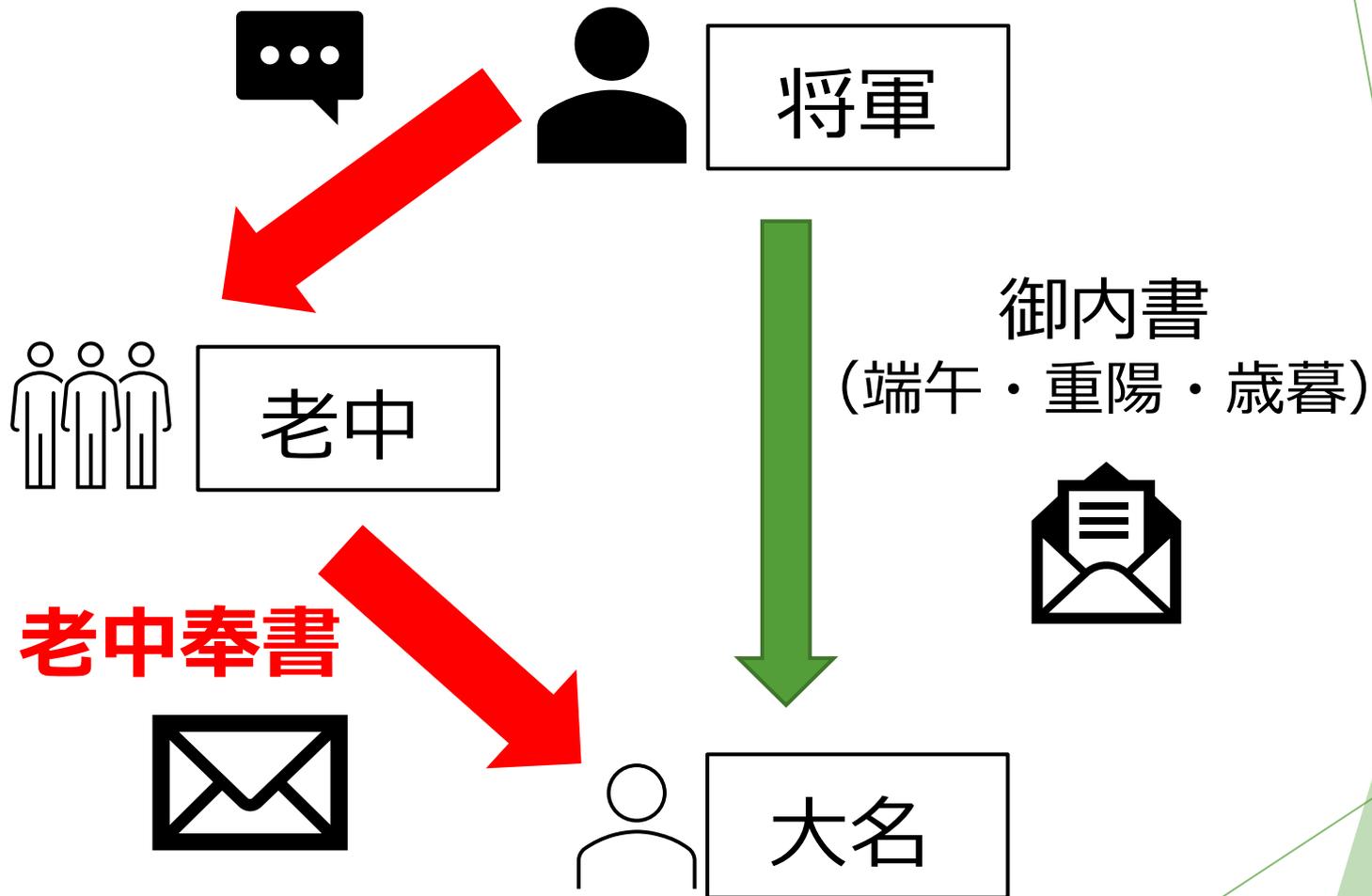
奉書紙B



(折紙)



老中奉書とは？



笠谷和比古氏

内容で分類

- (1) 本来の老中奉書 (ほんらいのろうじゅうほうしょ)
- (2) 老中返札 (ろうじゅうへんさつ)
- (3) その他の老中奉書 (e.g. 登城召 と じょうめし
勤番命令 きんばんめいれい)

大野充彦氏

- (1) 折紙奉書 (おりがみほうしょ)
- (2) 豎紙奉書 (たてがみほうしょ)
- (3) 無判奉書 (むはんほうしょ)
- (4) 切紙奉書 (きりがみほうしょ)

文書の形で分類

もっと別の視点が必要？

大野充彦氏の指摘

▶ 藩主が江戸... 豎紙奉書

藩主が土佐... 折紙奉書

→ 「使い分けが次第に定着」

笠谷和比古氏の指摘

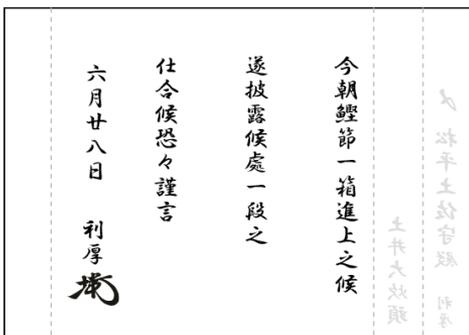
▶ 豎紙奉書の紙は、折紙奉書の紙より薄手で寸法が小型

→ 「格の低い紙」

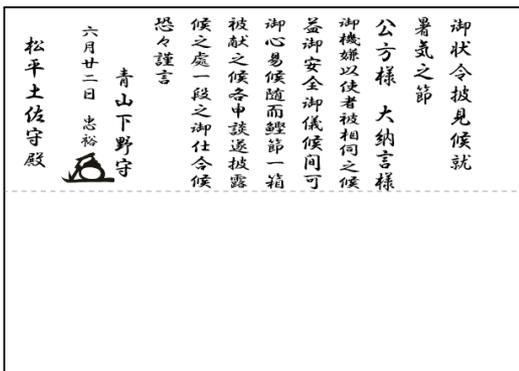
大小2種類の奉書紙がつくるルール
江戸 = 薄礼 / 領地 = 厚礼

土佐藩主・山内家の老中奉書

奉書紙A(豎紙) Table 1



奉書紙B



奉書紙A(豎紙) と奉書紙B(折紙) の縦横寸法と厚さ

史料番号	形態	繊維判定	縦mm	横mm	厚平均mm	厚最大値mm	厚最小値mm
4625	豎紙	楮	360	499	0.168	0.2	0.14
4626	豎紙	楮	359	498	0.169	0.2	0.15
4627	豎紙	楮	359	499	0.179	0.2	0.17
4633	豎紙	楮	359	502	0.204	0.23	0.19
4634	豎紙	楮	359	498	0.194	0.21	0.18
豎紙平均			359.2	499.2	0.183		
4628	折紙	楮	401	560	0.251	0.28	0.23
4630	折紙	楮	403	561	0.221	0.24	0.21
4635	折紙	楮	401	563	0.222	0.25	0.21
4636	折紙	楮	403	562	0.247	0.27	0.23
4637	折紙	楮	402	562	0.221	0.25	0.2
折紙平均			402	561.6	0.232		

※表中の史料番号は『山内家資料目録6 江戸幕府発給文書(3)』（財団法人土佐山内家宝物資料館、2006）を使用した。

奉書紙AはBより小型で薄い

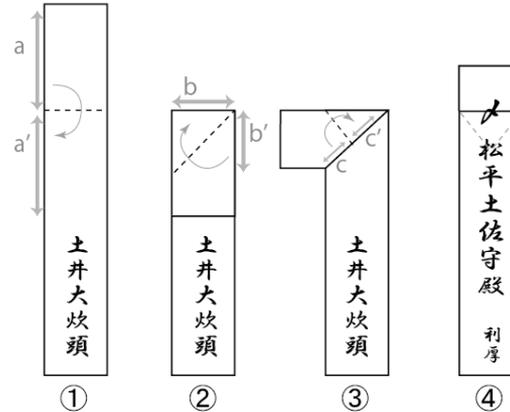
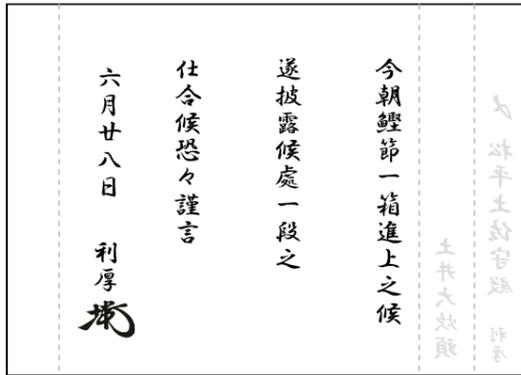
→ 奉書紙Aは紙のフォーマットがBより低い

Figure 1

豎紙奉書の封式 (薄礼)

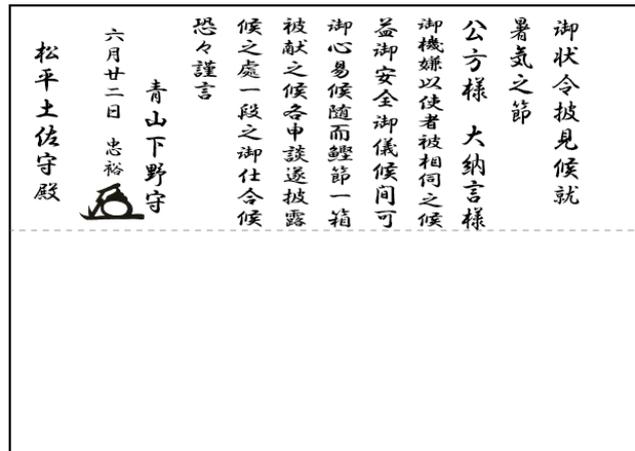
奉書紙A (豎紙)

(捻り封)

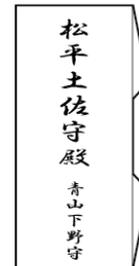
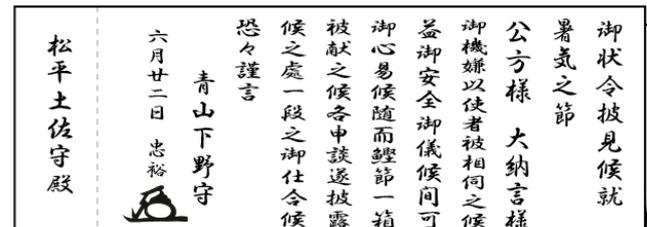


奉書紙B

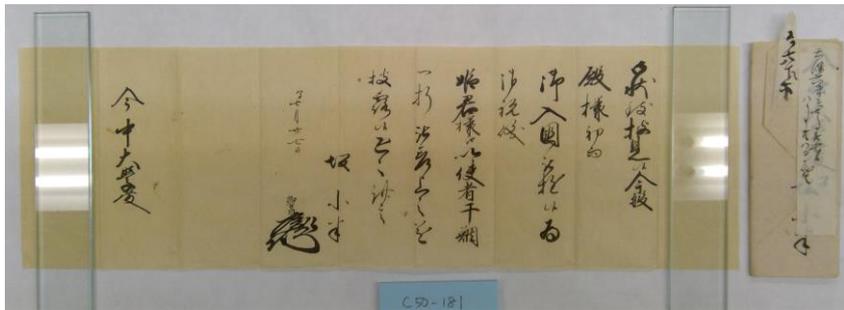
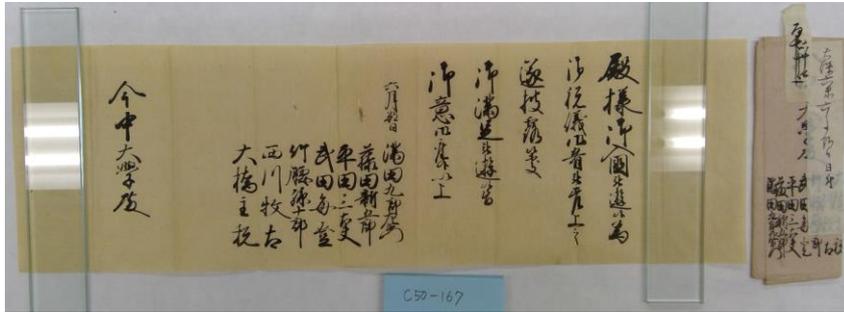
折紙奉書の封式 (厚礼)



(折紙)



広島藩も薄礼・厚礼の奉書



「今中文庫」 (広島大学中央図書館所蔵)

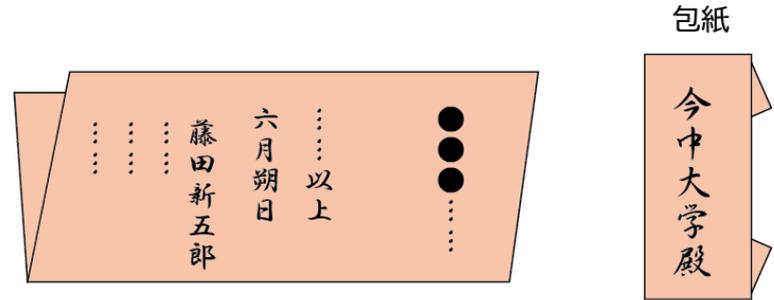


Figure 2

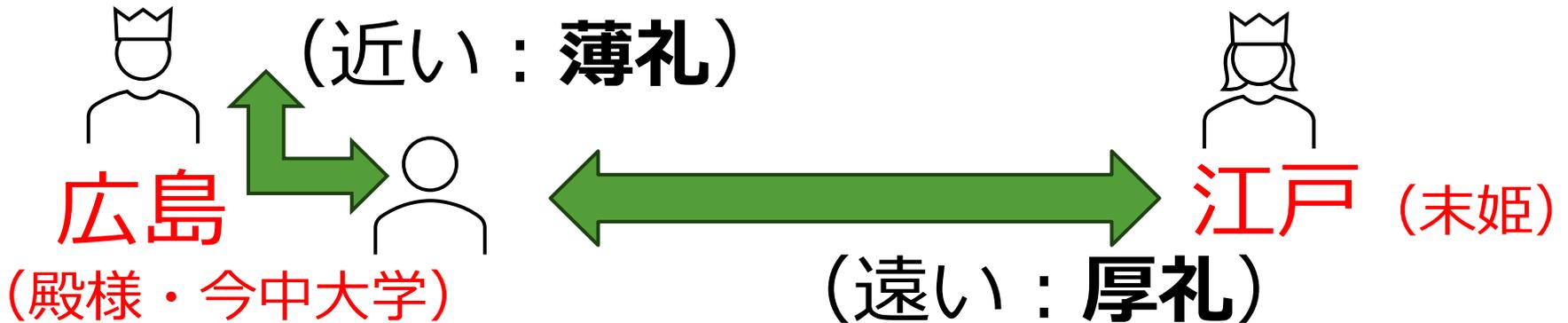
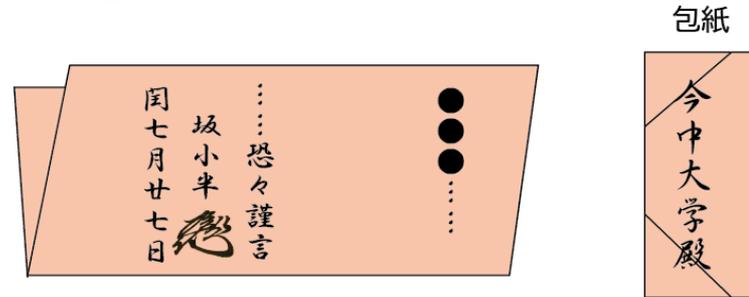
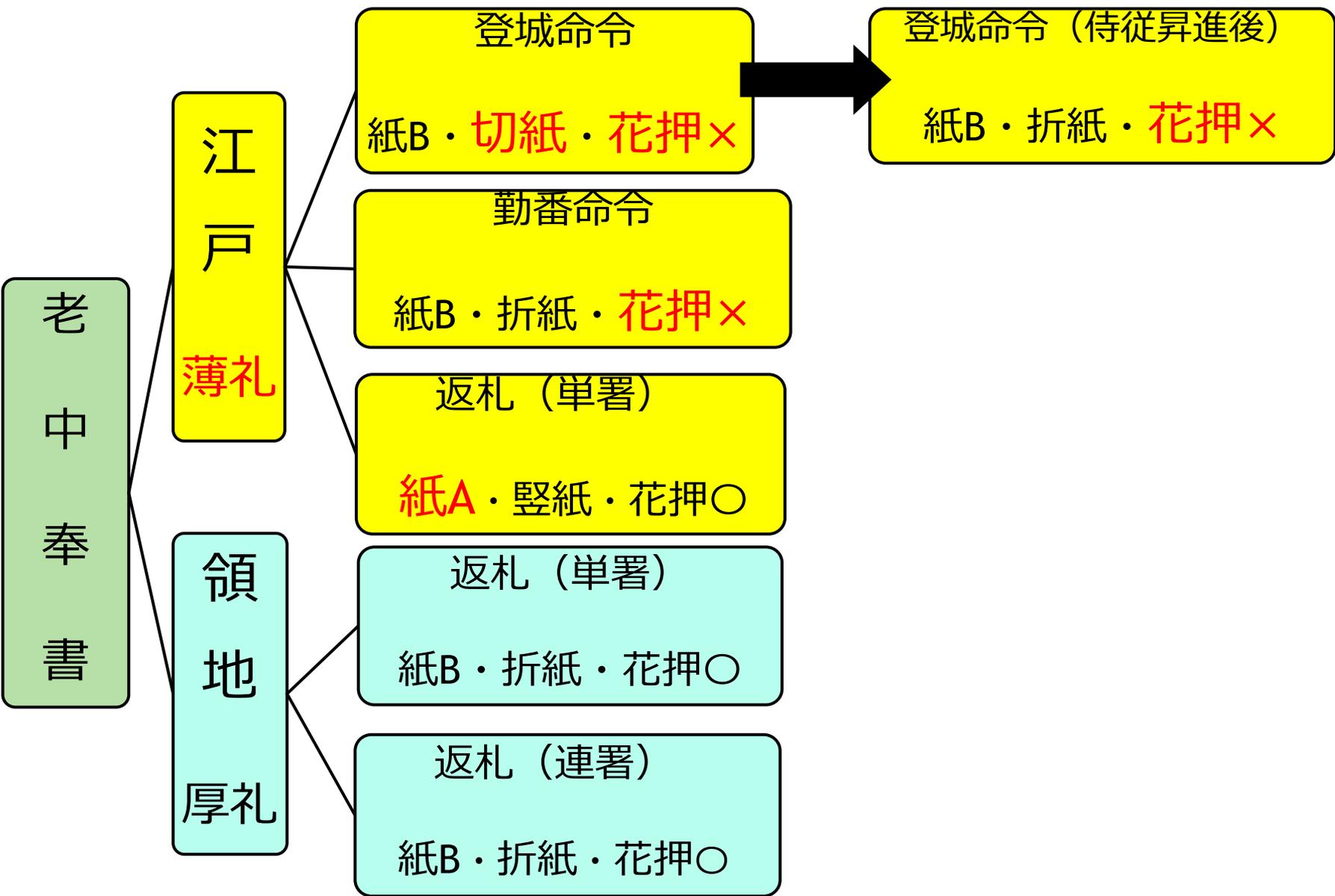


Chart 1

老中奉書の再分類



老中奉書の再分類

老中奉書

江戸 薄礼

領地 厚礼

明日五半時登
城参勤之御礼
可被申上候以上

四月十七日 酒井若狭守
青山下野守
土井大炊頭
牧野備前守
松平伊豆守
松平土佐守殿

明日五半時登
城参勤之御礼
可被申上候以上

四月十七日 酒井若狭守
青山下野守
土井大炊頭
牧野備前守
松平伊豆守
松平土佐守殿

浅草御蔵火之番
為細川越中守代
被仰付候間被得
其意可有勤仕候
以上

四月十七日 酒井若狭守
青山下野守
土井大炊頭
牧野備前守
松平伊豆守
松平土佐守殿

松平土佐守殿 謹言
今朝鯉節一箱進上之候
遂披露候處一段之
仕候恐々謹言
六月廿八日 利厚 殿

返札（祝儀献上）
紙A・豎紙・花押○

御状令披見候就
暑氣之節
公方様 大納言様
御機嫌以使者被相同之候
益御安全御儀候間可
御心易候隨而鯉節一箱
被献之候各申談遂披露
候之處一段之御仕令候
恐々謹言

青山下野守
六月廿二日 忠裕
松平土佐守殿

為年頭御祝儀
以使者御太刀一腰
御馬代黄金十兩被献之候
遂披露候處一段之
御仕令候恐々謹言

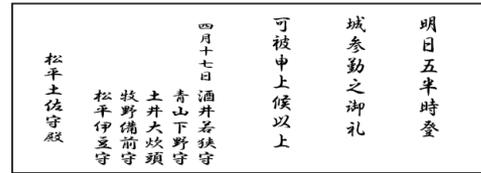
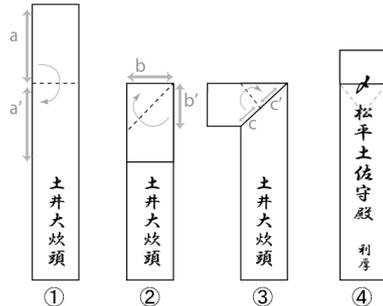
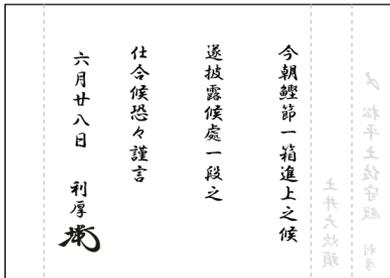
酒井讚岐守
正月十一日 忠進 殿

松平土佐守殿 謹言
松平伊豆守
松平大炊頭
松平伊豆守
松平土佐守殿

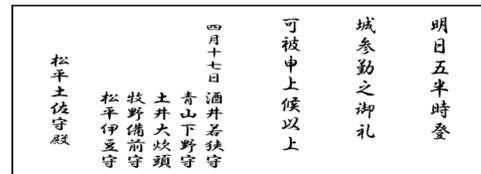
返札（連署）
紙B・折紙・花押○

江戸ヴァージョン (薄礼)

(捻り封)



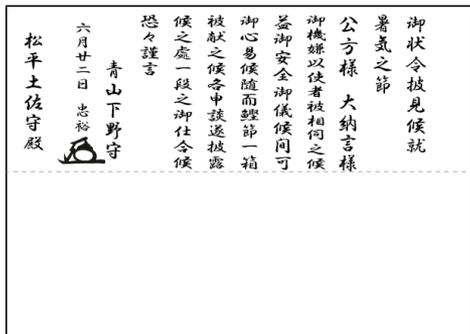
奉書紙B (切紙・花押なし)



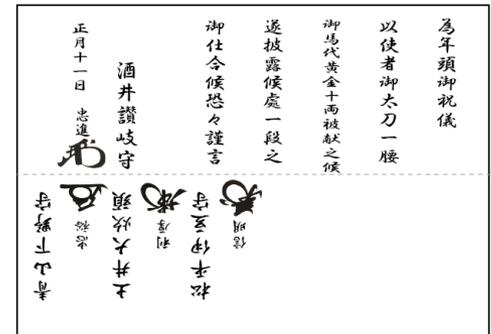
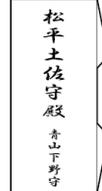
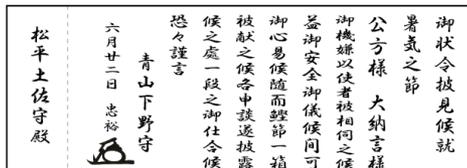
奉書紙B (折紙・花押なし)

奉書紙A (小型・豎紙・捻り封・花押あり)

領地ヴァージョン (厚礼)



奉書紙B (折紙・花押あり・包紙あり)



土佐藩主山内家
歴史資料調査ご協力：
高知県立
高知城歴史博物館



ありがとうございました

本研究は、JST次世代研究者挑戦的研究プログラムJPMJSP2132の支援を受けたものです。(This work was supported by SPRING, Grant Number JPMJSP2132.)